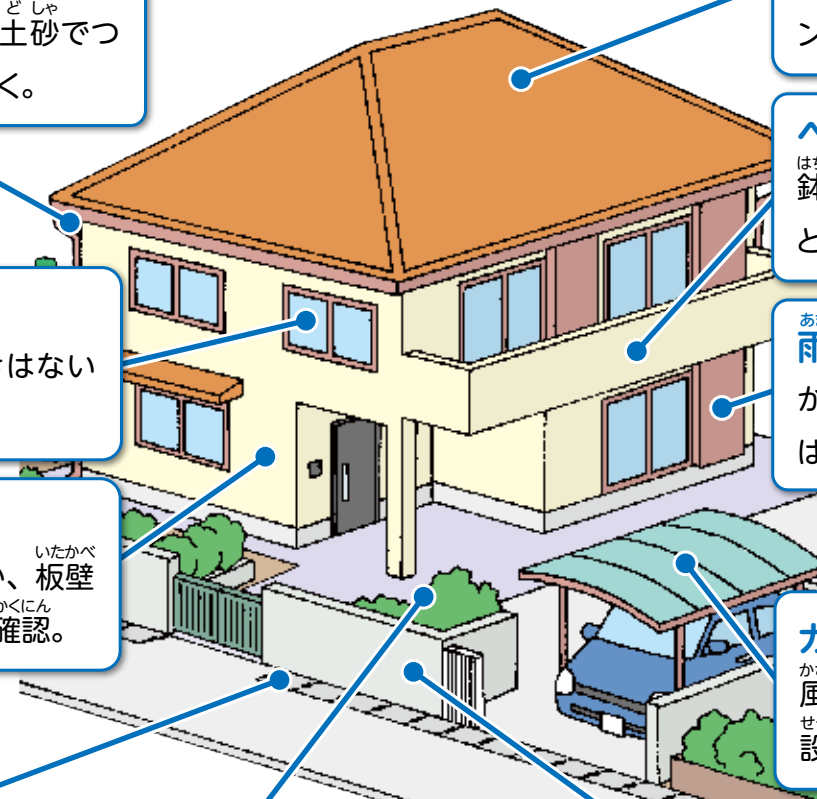


# 家の内外の風水害対策ポイント



**雨どい**  
つぎ目のはずれや塗装のはがれ、腐りがないか確認。落ち葉や土砂でつもらせないように掃除しておく。

**窓ガラス**  
ひび割れ、窓枠のがたつきはないか確認。

**外壁**  
モルタルの壁に亀裂はないか、板壁に腐りや浮きはしないかなどを確認。

**側溝**  
側溝のゴミや土砂を取り除き、雨水の排水をよくしておく。

**植木**  
庭木の枝が敷地の外に出ないか定期的に確認する。

**ブロック塀**  
ひび割れや破損箇所は補強する。

**屋内**  
停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオの準備や、避難に備える。

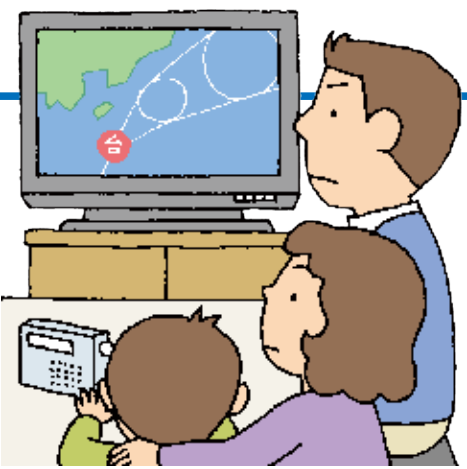
**屋根**  
瓦のひび、割れ、ずれ、はがれ、トタンのめくれ、はがれがないかを確認。

**ベランダ**  
鉢植えや物干しざおなど飛ぶとあぶないものは室内へ。

**雨戸**  
がたつきやゆるみなどがあれば補強する。

**カーポート**  
風向きを考えて影響の少ない場所に設置し、屋根や支柱を補強する。

## 被害が心配されるときには



- 1 気象情報に注意する**  
テレビ、ラジオなどで気象庁から発表される気象情報や、警報・注意報に注意する。
- 2 窓ガラスを補強する**  
外から板でふさいだり、×印にガムテープをはるなどして補強する。
- 3 むやみに外出しない**  
できるだけ外出をひかえる。外出する場合は、危険な場所には近づかない。

## 防災 記入チェック欄

### こんな土地は要注意～自宅がどんな場所にあるかチェックしておきましょう～

**浸水被害のあった土地**  
過去の豪雨で浸水被害があった土地は、今後の豪雨でも被害を受ける危険があります。洪水ハザードマップ (P28～29) で「東海豪雨実績」を確認し、自宅などとの位置関係を調べておきましょう。

**土砂災害警戒区域等**  
傾斜30度以上、高さ5m以上の急傾斜地は、豪雨でがけ崩れなど土砂災害を起こす危険があり、「土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域」に指定されています。洪水ハザードマップ (P28～29) で確認しておきましょう。

